

農作物の生育概況等について

1 気象経過

- 7月の気温は、上中旬が平年より高く、下旬が平年並で経過した。7月の降水量は、上旬から中旬にかけて平年並から少なかったが、下旬は平年を大幅に上回った。
- 7月26日の日降水量が米沢で113mm、長井で137mmと多かった。

■7月下旬降水量（7月21～31日、気象庁アメダス） (mm)

地点	山形	左沢	尾花沢	新庄	米沢	長井	鶴岡	酒田
旬降水量 (平年比)	163 (270%)	202.5 (381%)	323.5 (681%)	222 (401%)	196 (384%)	328 (503%)	191 (363%)	136.5 (242%)
最大の日降水量 (月/日)	44 (7/24)	61 (7/24)	99 (7/25)	59 (7/25)	113 (7/26)	137 (7/26)	50 (7/25)	53 (7/29)

2 7月26日から的大雨による農作物等の被害と対応

- 置賜地方で、圃場への冠水や浸水、水田への土砂流入等が確認された。
- 農作物被害は、えだまめで、泥水をかぶり出荷できない圃場が一部あったものの、他作物では、早期の排水と殺菌剤散布等が実施され、被害は軽微となっている。



■川西町の冠水した水田
(7月27日)

3 主な農作物の生育概況

(1) 水 稲

7月17日現在の生育は、平年に比べて草丈は短く、茎数、葉数はやや多く、葉色は平年並となっている。出穂期は、「はえぬき」「雪若丸」が8月1日となり、「つや姫」が8月6日頃になると見込まれ、平年に比べて1～2日早まっている。

■水稻主要品種の出穂期（8/3現在）

	はえぬき	雪若丸	つや姫
本年（平年差）	8/1（-1日）	8/1（-2日）	8/6（-2日）見込み
平年	8/2	8/3	8/8

(2) 大 豆

7月下旬に降雨が続き、水が溜まった影響で、一部の圃場では、葉の黄化がみられるが、全体では、概ね平年並の生育である。

(3) 果 樹

- ぶどう「デラウェア」の収穫は、7月26日頃から主力の無加温栽培が最盛期となり、現在、雨よけ栽培が盛期を迎え、概ね例年並の進捗である。品質は、全般に着色が良く、食味も良好であるが、降雨の影響で、一部に裂果の発生がみられる。
- もも「あかつき」の収穫は、例年並の7月28日頃から始まっている。なお、降雨の影響で、収穫前の落果や、果皮の褐変、果肉軟化の発生がみられる。



■ぶどう「デラウェア」



■もも「あかつき」

(4) 野 菜

- ・ 露地すいかの収穫は、例年並の7月13日頃から始まり、7月20日頃から盛期となったが、7月下旬の降雨で、一部圃場に収穫の遅れが生じている。品質は、肥大が良好で、糖度が高く良好である。
- ・ 露地メロンの収穫は、7月2日頃から始まり、例年並の7月20日頃から盛期となっている。品質は、肥大が良好で、糖度が高く良好である。
- ・ えだまめの収穫は、早生品種（「甘露」等）では、例年並の7月20日頃から始まっており、中生品種（「白山」等）では、8月中旬から始まる見込み。生育や品質は良好である。



■すいかの選果状況

(5) 花 き

- ・ 8月旧盆出しのりんどうときく類の収穫は、例年より早い7月下旬に盛期を迎え、現在も続いており、切り花品質は、概ね良好である。

4 当面の主な技術対策

〈水 稲〉出穂期からの適正な水管理、斑点米カメムシ類やいもち病の適期防除

〈果 樹〉灌水・散水・遮光等の高温対策の徹底(さくらんぼの双子果対策を含む)、ぶどう「デラウェア」及びもも等の適期収穫・選果徹底、病虫害の適期防除

〈野菜花き〉灌水・散水・遮光等の高温対策の徹底、収穫等の適期作業、病虫害の適期防除

〈農作業安全〉熱中症や農作業事故を防止するための基本的な対策の実施

以上